

NPO Akaiyane

特定非営利活動法人 あかい屋根

NPOあかい屋根広報紙

発行: 特定非営利活動法人
あかい屋根 ひまわり編集部
044-976-0444

ひまわり

第 422 号

2011/ 10 / 1



10月15日(土)

蔵敷こども文化センター

さんままつり

今年も蔵敷こども文化センターで「さんままつり」を実施します。

秋を満喫しようと、毎年炭火で焼いたさんまを提供してきましたが、3月に東日本大震災がありさんまの水揚げ漁港が被害を受けています。開催を検討するにあたり、「こうした時だからこそ、さんまを食べて被災地に思いを馳せて、みんなで少しでも支援しよう」と開催することとしました。

一尾 200 円としましたが、材料費を差し引いたお金は、すべて復興支援金として寄付することといたします。

皆様、意図を汲み取っていただき、ご参加をお



待ちしています。なお、数に限りがございますので、事前に「前売り券」をお求めいただければ幸いです。

プログラム

今年もさんまの季節がやってきました。東北の海からの恵みに感謝!!!

にちじ：10/15 (土) 10：40～・・・オープニング

11：00～・・・さんま販売開始

炭火で焼いた、旬のおいしいさんまを、みんなで食べちゃおう!!

一尾 200 円 他に、塩おにぎり 50 円。飲み物の販売もあります。

さんまのクイズに
こたえて、キャンディー
をゲットしちゃう



***10月1日(土)から13日(木)までセンターで前売り券を販売します。**

売り上げの一部を被災地へ義援金として寄付させていただきます。

蔵敷こども文化センター

たのしかったね なつまつり

8月27日(土)、あいにくの天気。室内でのちょっぴり窮屈な「なつまつり」でしたが、多くの方々にお集まりいただき盛況でした。中でもお化け屋敷は大人気。なんども入場し楽しんでいました。カレーは具たくさんでおいしいと大評判。そして、地域の方々にご協力いただいた景品は、輪投げゲームとペットボトルボーリングに使わせていただき、ゲットした子どもたちの笑顔は輝いていました。景品を提供していただいた皆様、本当にありがとうございました。改めて、お礼申し上げます。



オープニング
睦和クラブの方々の手話と歌
子どもたちの「マリ・モリダンス」



大人気のおばけやしき。何度もチャレンジ!

おいしかったね! カレーライスやかき氷



スーパーボールすくいは大人気

受付は長蛇の列になってしまっ
て・・・



10月の行事予定

菅生こども文化センター

4・18・25日(火) 16:00~17:30

卓球クラブ

クラブ員 100円/月

5・7・26・28日 15:00~17:00

ターザンロープの日 誰でも・無料

10日 8:30~16:00

野毛山動物園に遠足

580円 小学生 要申込 20名 〆切6日

12・19日(水) 15:00~16:30

おやつづくりクラブ(中華ちまき)

150円 3~6年 各20名

14・21日(金) 15:00~16:30

やさしいおやつ作り(きりたんぼ)

100円 1・2年 各20名

22日(土) 8:30~16:00

ONEぱーく(スウィートハンター&蒸しパン)

200円 2~6年 40名(内2年生10名)

25日(火) 10:30~11:30

がおがおらんど(きしゃぼっぽ)

無料 幼児とその母親 当日ご参加ください

毎週月・木曜日(10日除く) 15:00~17:00

居菓子屋「ぶん」 10円~(但し1日100円迄)



蔵敷

こども文化センター

3・17・24・31日(月) 一日中

卓球の日 誰でも 無料

8日(土) 13:30~15:30

おやつづくり(スイートポテト)

150円 1~6年 要申込 20名 〆切7日

10日 8:30~16:00

野毛山動物園に遠足

580円 小学生 要申込 20名 〆切6日

12日(水) 14:30~16:30

よみきかせ&だがし&映画会

14:30~よみきかせ

15:00~だがしやさん 1つ10~50円

15:30~映画会

15日(土) 10:40~14:00

さんままつり 誰でも 詳細は1面

26日(水) 14:30~15:30

パソコンであそぼう(デジカメを使って写真)

無料 1~3年 要申込 〆切24日 先着8名

菅生こども文化センター

講座「人生の最終章を安心して生きるために」

定員を超え140名で学習中!



菅生分館・実行委員会主催、菅生台・稗原団地自治会、NPOあかい屋根共催の市民自主学級「人生の最終章を安心して生きるために」が菅生こども文化センターを会場に始まった。皆さんの関心をひき、定員100名のところ、応募者は140名。うれしい悲鳴を実行委員会ではあげている。菅生こども文化センターの集会室にぎゅうぎゅうづつめに入っただき、全員受講できる体制を作った。

人間生きている限り「誰にでも訪れる死」。それに向けて生をどのように謳歌し、楽しい生活を送り、死をどのように迎えるか・・・多くの人の関心を呼んでいる。

図書室から Book

Guide

No.149

「わらべうた」で子育て
-応用編-

阿部ヤエ/著
平野恵理子/絵

福音館書店
2000円+税

9月号でお伝えした「わらべうた」で子育ての
応用編です。

前号の基本から、さらに成長した子どものため、
そして大人までも楽しめるあそびの魅力がたくさ
ん書かれています。

本当の「わらべうた」は人を育てるあそびです。
呼びかけのうた、手遊びうた、体を使ってあそぶ、
子どもの年齢とともに育つ感覚を上手に促してあ
げるヒントがあります。

生きる力をつける「あそび」が、今の子育てに
必要なのではないでしょうか。



どうしたらいいの? 44 ひとり暮らしになって早十年 -シリーズ 老いを考える-

ひとり暮らしになって早十年、自由に好きなこと
をして充実した日々感謝、感謝の日々を生きて
きた。それが今年になった頃から食事づくりが面倒
だと感じるようになった。最小の量で作っても、二
日も三日も同じものを食べる気になれず、捨てる分
が大幅に増えるようになった。

色々なものに挑戦もした。「わたみ」の配色サー
ビス、6品目週5回で2850円。二か月は我慢し
たけど、慣れるには至らなかった。味に慣れられな
いのだ。

生協の食材も買って見た。自分流に味付けが可能
で便利なのだが、注文表の文字が小さく、しかも茶
色、老眼鏡に拡大鏡を重ねても商品と商品番号をつ
なげるのが困難で、これは一か月でやめた。こんど
は新聞に載ってくる通販に手を出した。明太子、西
京漬、サケの切り身、ツナ缶、レトルトカレー、な
どなどで冷凍庫がいっぱいになっている。確かに一
品にはなるのだが、私は煮物が欠かせないのだ。み
ずさわマーケットに立ち寄り、煮物の食材を探す。
作ればやっぱり残りを捨てるハメになってしまう。
結局「夢庵」となってしまおうのだが、その「夢庵」
も何回も食べて見ればどれも同じ味付け。週一回が
限度だ。

仕事柄、一人暮らしの老人が家で倒れ救急車で病院
に運ばれる人の多くが脱水や栄養失調が多いことを熟
知している私にとって、食事をバランスよく摂取する
ことが何時まで生きるかに直結していることを良く知
っているから怖い。自分の味付けにこだわっている場
合じゃないことも良く分かっている。おまけに私は喫
煙者、肥満、運動不足、脳梗塞か、心筋梗塞が目の前
で、おいでおいでをしている。ああ、何と恐ろしいこ
とか。私の施設のお年寄りたちは「ごはん、おいしい
よ」と言ってくれるがどれだけ我慢の末にそう言える
ようになったか胸がキュンとする。施設の食事を続け
ることで糖尿病も高血圧も消えてしまっていることを
考えれば「わたみ」の配食サービスもじっと我慢すべ
きなのか。

確かに私は生きている、自分の人生を精一杯生きて
いる、だが、自分流を通せなくなることも受け入れて
いく覚悟を持たなければならないということか。老い
るということは一つ一つやれることが減っていくこと
だ。
嫁がときどき差し入れてくれる野菜サラダが、だんだ
ん有難味が増しているこの頃である。

十文字 美恵 (老人保健施設青葉の丘)